

## 美原里山通信 No. 165 (2026年1月号)

2026.1.1

1月の定例作業は、1月10日（土）9時からグリーントリム公園に集合

年始めに、1年の安全を祈って、山神祭をします。そして、里山を清掃し、そのあと年始の親睦交流をします。1年の計を語り合いましょう。雨天の場合は、1/17（土）に延期。

1月の平日作業は、1月20日（火）9時からグリーントリム公園に集合

作業は支障木（枯木）の伐採を行います 合言葉は「ご安全に」

## 年頭の挨拶

会長 橋本芳明

新年おめでとうございます。令和8年は午（うま）年ですので、皆様が飛躍できますよう祈念いたします。

昨年を振り返りますと、まず、一年を通して事故なく安全第一で作業ができましたこと感謝いたします。

そして、グリーントリム公園でいろいろなイベントがおこなわれ、私たちの里山整備が役立ったことは嬉しいことです。7月は「美原ふれあい子供会」が、11月に「美原ふれあいフェス2025」が、12月には「イルミハラ」（イルミネーション）が盛大に行われました。

また、8月には会員家族を含めた親睦会として、流しソーメンのイベントを行い楽しみました。

ご支援に感謝申し上げることは、昨年の夏以来「松の木保育園」様のご厚意により里山通信の印刷をして頂いていることです。きれいで鮮明な印刷で発信力も高まりました。また、今年も緑の募金公募事業や町内会から助成を受けています。

一方、悲報がありました。前会長小作四郎氏が6月に他界されました。氏からは、樹木、草花昆虫、鳥など詳しくたくさん教えてもらいました。また、作業道具を持参して森林作業の実地指導をするなど、見事なリーダーシップでした。会員の近藤賢一郎さん高橋章次さんが逝去されました。感謝と共にご冥福をお祈りいたします。

このように、今は、羽村市、町内会はじめ周辺団体からご支援頂き勇気付けられた状況であります。また、初代会長逝去に示されるように会員が高齢化し世代交代の時です。今年は、従来の枠を超えた新企画を、若い新しい力を發揮して頂き、明るく安全な緑の里山を育てて地域貢献する年としましょう。

まず、富士見公園の管理棟で、羽村市と公園指定管理者“ウイングパーク”の協力を得て、間伐材の薪販売を行なう準備中です。他所の緑の団体の見学や羽村市内の稻荷緑地の会との交流も検討中です。

そして、最近作業に参加されていない会員や、また会員外の方も、美原近郊外の方も、できる時（ボランティアですから）作業日に随時参加して頂きたいです。新しい顔に接すれば皆は元気になります。また、身体の不自由な方はベンチで見学も歓迎です。休憩時間にみんなでワイワイしゃべりましょう。

今年も、「ご安全に」を合言葉に安全作業を第一に里山保存活動を楽しみながら行いましょう。皆様のご健勝とご多幸をお祈り申し上げ、挨拶といたします。



美原里山を馬が疾駆か…初夢



## 1. 12月の定例作業は、チューリップ球根植え

12/13（土）、9時には気温2°Cでしたが、日射しがあり、風がなく、冬としては作業日和です。清水亮一さんから戴いたチューリップ球根をグリーントリム公園入口通路に植えました。まず、ツルハシやスコップで一列に溝を掘り、黒土・腐葉土を撒き、球根を並べ、土をかけました。来年春に、赤白黄色3色の花が咲くことでしょう。



この作業に並行して、美原町内会が役員中心に応援も含め約17名が入口広場に集まり、イルミネーションの企画“イルミハラ”を進めていました。高所作業車も来て、にぎやかです。

## 2. 美原里山に美原町内会のイルミネーション、“美原よ、みんな元気になろう”

12/20（土）夕方6時、はじめ小雨だが次第に小ぶりとなり、イルミネーションの点灯式が始まりました。グリーントリム公園入口広場にざっと数えて100名を超す人波です。小作町内会長は“イルミネーションで季節の彩りを楽しんでもらい、地域の交流・活性化につながってほしい”と挨拶。橋本市長の合図で、点灯、即“イルミハラ”と合唱が響きました。いつしか雨が止んでいました。テントの甘酒、焼き鳥も好評で列をなしていました。

イルミネーションは、入口広場を中心、園路、美原街道沿いに広がり、入口広場では、ヤマモミジ（橙）、モッコク（緑）、ネズミモチ（青、白）などの高木の飾りに勢いがあり、トイレ棟・管理棟・急こしらえの門の輪郭に付いたメルヘンの趣き、大きな滝を思わせるすだれ状の迫力、トナカイに乗ったサンタクロースがクリスマス気分を、そして低木に這



わせたイルミネーションが気分を高揚させてくれています。大きな雪だるまにも小さな子らは大喜びでした。管理棟の屋根にはえんとつが付けられサンタが入ろうとしていました。

1月12日（月）の21時30分まで点灯します。